

しまねの河川と海岸だより

平成30年5月号

発行：島根県土木部河川課

〔目次〕

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| ◆ 平成30年度 江の川下流総合水防演習開催のお知らせ | 河川課 防災G |
| ◆ 安来市「伯太川水辺の楽校」で小学生が鮎の放流体験！ | 広瀬土木事業所 |
| ◆ 平成30年度第1回「汽水の松江堀川」魅カアップ協議会を開催しました | 河川課 企画調査G |
| ◆ 不審な漂着物には触れずに通報！ | 河川課 防災G |
| ◆ しまねの河川と海岸～自転車 de ぶらり～vol.2 | 河川課 番外編 |



平成30年度 江の川下流総合水防演習開催のお知らせ

河川課 防災グループ

5月13日（日）に江の川河川敷において、水害による被害の軽減を図ることを目的とした実践的な水防演習が開催されました。

演習では、水防工法訓練・情報伝達訓練・救出救護訓練等が行われ、水防技術の向上・継承とともに、行政・住民・企業等の各主体が水害リスクに関する知識と心構えを共有しました。

- 開催日時：平成30年5月13日（日）9:00～12:20
- 実施場所：江の川右岸河川敷（江津市渡津町地先）
- 参加機関：33機関
- 参加者：約1,100人（国土交通副大臣、島根県知事、江津市長、来賓及び、一般見学者含む）



開会式の様子



溝口島根県知事



牧野国土交通副大臣

主な実施演習の様子



水防団による水防訓練



多言語支援訓練



小学校避難訓練



水防工法体験



物資輸送訓練



救出訓練（家屋）



救出訓練（車両）



救護所開設・救護訓練・トリアージ訓練



江津市・浜田市・大田市・川本町・美郷町・邑南町各水防団 約280名による水防工法訓練

閉会式の様子



山下江津市長



江津市消防団副団長へ功労者表彰状の授与

安来市「伯太川水辺の楽校」で小学生が鮎の放流体験！

広瀬土木事業所

5月8日（火）に安来市伯太町の井尻小学校の児童26名が、学校裏を流れる伯太川で稚鮎の放流を行いました。

これは、地元の「十神会伯太川を愛護する会」の皆様が、米子市熊党の「日野川水系漁業協同組合」の協力を得て井尻小学校と継続的に取り組んでおられるもので、今回で11年目になります。

伯太川では、水辺の楽校として登録・整備され、落差工には魚道のほか水のトンネルなどの様々な工夫がされています。



井尻小学校



伯太川



いよいよ
放流準備



まずは放流前に、漁協の方の説明！

大きな水槽にいる稚鮎をバケツに小分け



最後に、校長先生から大事なお話！



元気でね～



児童一人一人が、伯太川に放流

放流前には、漁協の方々の説明があり、「一匹の鮎が何個の卵を産むの？」など質問が飛びかい、熱心に学習されていました。

今回、この魚道での放流は初めての試みで、鮎が川に放たれると急流に負けず、上流に勢いよく泳いで行き、児童たちは“元気でねえ”と見送っていました。

最後に、校長先生が「鮎にとって伯太川の井尻小学校が一番環境良く、安来市で経験出来るのはこの学校なので、皆さんで伯太川を守っていこう！伯太川が命のあられる川で、色々な学習の場となってもらいたい。」と締めくくられました。

さて、問題！児童のみんなも質問していましたが、
一匹の鮎が産む卵の数は何個でしょうか？
(答えは後記に掲載)



平成30年度 第1回『汽水の松江堀川』魅力アップ協議会を開催しました

河川課企画調査グループ

平成30年5月11日に第1回『汽水の松江堀川』魅力アップ協議会を開催しました。主な議事は今年度の活動（案）で、概要は以下のとおりです。



(1) 今年度の活動（案）

○生き物調査

① 松江堀川※の生き物調査、水質調査（6月に1回）

松江堀川の生態系を把握するため複数箇所で行う生き物調査、水質調査を実施。

※一級河川の北田川、四十間堀川、京橋川、北堀川、城山西堀川、上追子川、向島川及び準用河川の田町川、米子川、城山内堀川の10河川の総称

② 城山内堀川での捕獲調査（5月から週2~3回程度）

松江堀川の中でも、大手門前の観光スポットである城山内堀川は、多くの外来種が確認されていることに加え、閉鎖環境で調査の効果検証・分析がしやすい状況にある。そのため、重点的に外来種の防除を行い、生態系への影響を確認する。

③ カメ類の食性調査（5月から）

在来種と外来種のカメの食性を調べ、餌資源の競合があるか確認する。（外来種が在来種に与える影響を確認する）

④ カメ類の移動範囲特定調査（5月から）

重点的に防除を行っている城山内堀川に他河川からカメ類が移動してきているかを調査し、今後の対策方法について検討するためのデータとする。

⑤ カメ類の産卵巣を荒らす生き物の特定調査（5月から）

昨年度の調査で城山内堀川がカメ類の再生産の場となっていない可能性が高いことを確認した。この状況は外来種に対しては防除となるが、在来種にとっても生息しにくくなっているため、産卵巣を荒らしている生き物を自動撮影カメラで特定する。



昨年度の調査状況

○啓発活動

① 全国城下町シンポジウム松江大会（5月13、19日）

松江青年会議所主催のイベントで、協議会の活動内容や松江堀川の水環境についてのPRを行う。

② トヨタソーシャルフェス（7月21日）

山陰中央新報社と共催する環境イベント。昨年度に引き続き2年連続2回目。

松江堀川で昨年と同様に捕獲調査、水質調査を行う。今年度は堀川遊覧船を使った調査も計画中。

③ その他

昨年度参加した松江市環境フェスティバル等のイベントに参加し、啓発活動を行う。



(2) その他

○ホシザキグリーン財団の環境修復に関する調査研究

- ・上記生き物調査に加え、外来種を原料として作成した堆肥の効果実験を行う。
- ・松江堀川の環境修復をテーマとした特別展を島根県立宍道湖自然館ゴビウスで行う

○水草、藻の繁茂に関する調査、検討について

- ・松江市観光振興公社の協力のもと、松江堀川における透明度の状況把握を行い、透明度が水草・藻に与える影響を調査するための指標とする。

○塩分濃度の状況把握調査

宍道湖からの導水により汽水環境が保たれている松江堀川において、必要以上の高塩分濃度とっていないかを確認し、必要に応じて導水方法について検討する。

詳細はHP参照

⇒ <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/link/>



不審な漂着物には触れずに通報！

河川課 防災グループ

暖かくなり、海岸で過ごすのが心地よい時期になりました。海岸を歩いていると様々な漂着物を発見する場合があります。

漂着物の中には、触れるとケガをするおそれのあるものがあります。

今年の3月には、県下の海岸において2,000個を超えるポリタンクの漂着を確認しました。その一部には内容物の入ったものがあります。

これまでもポリタンク以外に、注射器、信号弾等が漂着した事例もあります。それらの漂着物、または何か特定できない不審物を発見した際は、くれぐれも手を触れずに最寄りの県土整備事務所（局）、警察署、消防署、市町村へ連絡をお願いします。

これまでに回収した危険性のある漂着物



ポリタンク



注射器



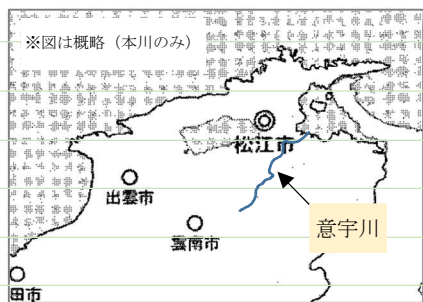
信号弾

しまねの河川と海岸～自転車 de ぶらり～vol.2

やっと暖かくなり（時には暑い日とを感じる時もありますが…）川沿いを走ると、様々な生き物たちに遭遇することが増えました。川辺の散策に適した季節到来です。

今回紹介するのは！

意宇（いう）川（松江市八雲町～東出雲町）



意宇川は、松江市八雲町熊野～東出雲町を流れ斐伊川（中海）に合流する一級河川です。延長約11.5 kmの源は雲南市境に近い山麓にあり、いくつかの支川が合流して八雲町と東出雲町にまたがる平野部を普段は穏やかに流れていますが、相当な暴れ川でもあったようで、地元の豪農が数代にわたって私財を投じ、治水工事を進めたとの史実も

あります。

八雲町熊野には「熊野大社」があり、その周辺には親水護岸や自転車用スタンドが整備されていますので、涼風を受けながら水辺で一休みすると疲れた体もリフレッシュ。

また、左岸の堤防部分は概ね舗装されていて平坦なので、サイクリング初心者や初級者の方にもお勧めコースです。（ただし、道幅が狭いのと通学路なので走行時は要注意！）

4月下旬、八雲町日吉にある親水公園周辺では、「八雲ゆう遊こいのぼり」のイベントが開催されており、たくさんの家族連れで大変賑わっていました。



川に親しみ触れ合えるこの催しは、地元の若手が復活させたとのこと。心意気が粋ですよ。

さて、5月は水防月間です。昨年9月には、大雨により意宇川の水位が急上昇したこともありましたので、洪水に対する備えも忘れないようにしたいものです。

（写真は全て2018年4月に筆者撮影）



熊野大社周辺の河川整備



意宇川を元気に泳ぐ鯉のぼり！

【編集後記】 河川課 企画調査グループ 金村

今号では『汽水の松江堀川』魅力アップ協議会について記事にしました。昨年に引き続き今月から城山内堀川を中心に松江堀川で生き物調査、水質調査を実施します。松江堀川の生き物や水質についてPRするため、7月には一般参加のイベントも開催予定ですので、ぜひ参加していただければと思います。

さて、島根県河川課では、今後も河川・海岸に関する話題・情報を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。



(答え)

なんと！ 4万匹[★]
みなさん、わかりましたか??

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : kasen@pref.shimane.lg.jp

河川課 しまねの河川と海岸だより HP : <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>

